

平成 19 年度 収 支 予 算

(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

収支予算(案)の編成に当たって

収支予算書(案)

社団法人 全国大学体育連合

平成 19 年 3 月 24 日

収 支 予 算 (案) の 編 成 に 当 た っ て

平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで

新会計基準に準拠した予算案の作成に務めた。当期収支の均衡を原則とするが、経常的な事業以外の時限的な事業については、前期からの繰越金で対応することとした。大学体育連合組織改変を考慮した予算編成に努めた。前期との変更点等の要点は以下の通りである。

事業活動収支の部

1. 事業活動収入について

基本財産運用収入

基本財産引当預金（1,500 万円）の前期精算時点での運用実績を踏まえ、4,500 円を見積もった。

入会金収入

前期実績も踏まえ、個人 10 を見積もり、100,000 円を計上した。

年度会費収入

正会員会費収入を前期清算時点での納入状況と、前期における退会の届け出並びに入会見込みとの関係から、22,360,000 円を見積り、賛助会費収入は前期の実績を踏まえ、賛助会員 300,000 円を見積もり、計 22,660,000 円を計上した。

事業収入

機関誌等に広告収入事業を行い、広告収入 50,000 円を見積もり計上した。

雑収入

受取利息収入は普通預金、定期預金の前期清算時点の実績を踏まえ、4,200 円を見積もった。

事業活動収入合計

以上の結果、事業活動収入合計は 22,818,700 円となり、前期に比して 140,000 円の減となっている。

2. 事業活動支出について

事業費支出

1) 一般運営費支出

機関誌「大学体育」、論文誌「大学体育学」発行費支出は、印刷等にかかる経費を削減することにより 15 万円、10 万円減額し、それぞれ 1,350,000 円、420,000 円を計上した。

「会員増強費支出」は、新規会員加入促進に関する支出であるが、前期の実績から16万円減額し、200,000円を計上した。この科目にはポスター印刷費、郵送費等が含まれる。

「シンポジウム開催費支出」は、日本体育学会企画委員会との共催することで530,000円を計上した。

「体育指導教材作成費支出」は、精算時点の実績を踏まえて25万円弱増額し、614,000円を計上した。この科目には教材作成に係わる会議費、旅費交通費、消耗品費、取材のための交通費、謝金等が含まれる。

「ホームページ関係費支出」は、精算時点の実績を踏まえて12万円減額し、160,400円を計上した。

「報告書作成費支出」は、当期からの新規事業で600,000円を計上した。この科目には年報作成に係わる会議費、旅費交通費、印刷費、謝金等が含まれる。

「会議費支出」は、精算時点の実績を踏まえて4万円弱減額し、279,300円を計上した。

「旅費交通費支出」は、支部長会への本部理事の交通費を計上し17万円余増額して、943,800円を計上した。

「給料手当支出」は、大学体育連合運営にかかわる事務職員給与で前期と同額の1,960,000円を計上した。

「図書費支出」、「図書刊行費支出」、「表彰関係費支出」、「通信運搬費支出」は、精算時点の実績を踏まえて、前期と同額を計上した。

「印刷製本費支出」、「FD評価関係費支出」は、精算時点の実績を踏まえて、増額して計上した。

「消耗品費支出」、「雑支出」は、精算時点の実績を踏まえて、減額して計上した。

2) 研修事業費支出

「研修会補助金支出」は、当期は2泊の中央研修会となるため、1,350,000円に減額して計上した。

「研修会調査準備費支出」は、中央研修会主管支部にその調査準備に補助するものであり(前年度80,000円、当該年度150,000円)、前期と同額を計上した。

「印刷製本費支出」は、中央研修会に係わるポスターや資料の印刷関係費であるが、前期と同額を計上した。

「研修会企画調整費支出」は、330,000円に増額して計上した。

「支援補助金支出」は、2件の支援補助を増やし700,000円に増額して計上した。

3) 研究調査費支出

「研究助成費支出」は3件の研究助成を行い、600,000円を計上した。

「図書費支出」、「検討会議費支出」、「旅費交通費支出」、「印刷製本費支出」、「通信運搬費支出」、「研究調査雑給費支出」、「消耗品費支出」は、それぞれの科目で教育評価調査関係費を削減し6万円余減額し、276,400円を計上した。

4) 支部補助金支出

支部補助金支出は、補助金の10%、40万円減額し、3,600,000円を計上した。

5) 国際交流費支出

「国際会議費支出」は、国際会議会費に係わる費用で ICHPER・SD と当期は ICSSPE (国際スポーツ科学体育協議会) の15,000円増額し、45,000円を計上した。

「海外研修費支出」は、国際会議派遣に係わる費用で、当期は ICSSPE (国際スポーツ科学体育協議会) に派遣し100,000円を計上した。

管理費支出

「給料手当支出」は、大学体育連合運営にかかわる事務職員給与の経費及び監査の経費で2,040,000円を計上した。

「顧問報酬費支出」は、公認会計士との契約変更等により12万円減額し、502,000円を計上した。

「総会・理事会費支出」は、前期の実績を踏まえて840,000円を計上した。この小勘定科目には、総会・理事会に係わる会議費、印刷製本費、旅費交通費、講師謝礼、懇談会費等が含まれる。

「会議費支出」は、大学体育連合組織改変等により2万円弱減額し、309,400円を計上した。

「旅費交通費支出」は、支部長会への総務部長の交通費を計上したこと等により5万円余増額し、516,600円を計上した。

「賃貸費支出」は、当期は事務所更新手数料を計上したこと等により50,000円増額し、1,490,000円を計上した。

租税公課支出は、収益事業を停止したこと等により法人税7万円減額し、10,000円を計上した。

「臨時雇賃金支出」、「印刷製本費支出」、「通信運搬費支出」、「慶弔費支出」、「消耗品費支出」、「図書費支出」、「消耗什器備品費支出」、「光熱水料費支出」、「備品費支出」は、前期清算時点での実績を踏まえて、前期と同額を計上した。

他会計からの繰越金収入

前期と同様に0となった。

以上の結果、当期の事業活動収入の合計は22,818,700円となり、前期に比して140,000円の減となっている。事業活動支出の合計は23,000,700円となり前期に比して141,550円の減となっている。

投資活動収支の部

投資活動収支の部は新会計基準に準拠して新たに設けた項目である。前期に新会計基準に対応した会計ソフトウェアを取得しているために、当期の支出は0となった。

予備費支出

当期は15,268,000円を計上した。前期に比して2,281,550円の増となっている。

前期繰越金収支差額

前期精算時点の見込み額である15,460,000円を計上した。

当期の収支

1) 事業費支出と管理費支出の比率

予備費除いた当期支出合計の23,000,700円に対して、事業費支出の16,240,700円は71%、管理費支出の6,760,000円は29%となっている。

2) 当期収支の差

当期の事業活動収入合計は22,818,700円、予備費を除く当期の事業活動支出合計は23,000,700円であり、差引182,000円の支出超となった。

本連合の安定運営のためには、年度会費の納入時期と第1四半期の事業遂行との関係から、約7,000,000円の繰越額が確保される必要がある。

以 上